

## 飯田市歴史研究所平成16年度の事業概要

昨年12月に開所し、この4月からいよいよ開所後初年度を迎え、本格的に事業に取り組んでいきます。今年度計画している各種事業をお知らせします。

### 1. 調査研究活動

- 基礎共同研究 特定のテーマを設定し、共同研究を行います。皆さんにも積極的に呼びかけて参加していただけるような活動を進めます。具体的には次の5つのテーマを設定しています。
- A 史料所在調査 飯田市・下伊那地域に関する近世・近代史料の所在状況について情報を収集し、調査を進めます。
- B 聞き取り調査 地域に住む人が自身の声で語る歴史に耳を傾け、音声資料として残していきます。
- C 拠点型・現状記録調査 特定の家について悉皆的に調査を行い、詳細な調査報告書を作成します。
- D 建物調査 昔の人々の暮らしを垣間見せる建造物を専門的視野から調査します。
- E 教育史・学校史 学校に残されている文書を調査し、保存・利用について考えます。
- 基礎研究 研究員・調査研究員・顧問研究員が各々のテーマを設定し、研究を行います。  
今年度のテーマ事例  
●飯田藩領の都市と農村●御館－被官関係の再考察●近世農業経営の展開●近世下伊那南部の村落●明治初期の小学校設立過程●近現代の地域社会経済●戦前の社会運動●地方在郷軍人会の組織と活動…など



### 3. 出版活動

- 年報 第2号
- 森本家調査報告書
- 小学生向け読本  
市制70周年事業の一環。「飯田線とカネト」を題材にした読み物を刊行します。



### 2. 教育活動

- 飯田アカデミア 年間8回の開催を予定。  
会場は、飯田市歴史研究所3階で行います。
- 前期ラインナップ  
4月「中世社会と現代」  
東京大学人文科 五味文彦 教授  
5月「士族と韓国近世社会」  
東京大学人文科 吉田光男 教授  
6月「民衆の教育経験」  
横浜国立大学 大門正克 教授  
7月「今の子育て・昔の子育て」  
國學院大学 田嶋 一 教授

#### 後期計画

10月、12月、1月、3月に開催を予定。

講師には次の皆さんを計画しています。

- |           |       |     |
|-----------|-------|-----|
| 東京大学史料編纂所 | 田島 公  | 助教授 |
| 大阪市立大学    | 塚田 孝  | 教授  |
| 和光大学      | 奥 須磨子 | 助教授 |
| 東京理科大学    | 伊藤 裕久 | 教授  |

#### ○ゼミナール

- 近世史ゼミ「近世下伊那の民衆生活史」  
4月6日～ 隔週火曜日通年開催
- 近現代史ゼミ「近現代地域社会史入門」  
4月8日～ 隔週木曜日通年開催
- ジュニアゼミ「写真で学ぶ下伊那の近代」  
4月10日～ 隔週土曜日通年開催

#### ○研究集会 8月開催予定

#### ○歴史研究活動に対する助成

平成15年度同様、飯田・下伊那地域の素材を用いたオリジナルな歴史研究の成果に対し、助成を行います。

# 飯田アカデミア2004

## 第2回講座

5月15日(土)  
16日(日)

### 士族と韓国近世社会

講師 吉田光男さん 東京大学教授

儒学を中心とする学問知を身に付けた士族・士大夫が官僚(両藩)に就任し、中央集権的官僚システムによって全国を支配していたという点に、韓国近世(17~19世紀)の歴史的特質を見出すことができる。この時代、中央・地方を問わず、学問知が社会の中で人々を序列づける重要な要素になっていた。慶尚道丹城県という南部地方山間部の一地域を舞台として、士族が学問知の習得に励みながら地域社会で活動していた様相を描き出してみたい。

## 第3回講座

6月19日(土)  
20日(日)

### 民衆の教育経験

講師 大門正克さん 横浜国立大学教授

教育が早期に普及した近代日本で、人びとは教育から大きな影響を受けた。農村と都市における初等教育の普及を概観したうえで、「教育経験」という視点から近代日本を生きた人びとについて考える。教育経験とは、人びとが教育をどのように受けとめたのか、教育を受けたことがその後の人生にどのような影響を与えたのかを考えるために用いた言葉である。この講座では、都市に住み、学童疎開を体験した人、農村の小学校に通い、役場吏員として戦時行政を担った人、戦後の生活記録を実践した農村の女性の3人を紹介しながら教育経験について考える。

★いずれの講座も90分間の講義を4回、2日間にわたっておこないます。

#### ■時間

1日目(土曜日) 13:00~16:30  
2日目(日曜日) 10:00~14:30

#### ■会場

飯田市歴史研究所(飯田市上郷庁舎)  
3F会議室

#### ■募集人員 各講座35名

#### ■受講料 資料代として500円(2日間分)

#### ■お申し込み方法

電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申し込みください。

※ファクシミリ、Eメールでのお申し込みは住所・氏名・電話番号を明記してください。

#### ■お問い合わせ・お申し込み先

飯田市歴史研究所

## 飯田アカデミア賞

### 飯田アカデミア2003を受講して

桐林 廣瀬貞夫さん

飯田アカデミアの講義に参加した動機は市広報を見て、年齢も考えずに好奇心のかたまりから、とにかく受講してみようということだった。一回目に参加して難しい内容であったが、各先生の観方の違う講義がすばらしいと、ずるずる出席が一年間になった。この一年間は実に早かった。「故きを温ねて新しきを知る」各先生方の講義内容は中世から近代へと広範なものだったが、人間の本质追及は鋭いもので楽しい講義であった。特に中世の資料は集めるのに苦労されたと思うが、資料から分析・解明・時代考証した講義を受けて、いつの時代でも為政者が民衆を圧迫した政治であったこと、社会に台頭してきた武士の「刀」の圧力も経済の力には負けたこと、こういったことは現在社会にも通じていると感じた。

私たちの年代以前の教育は天皇中心で富国強兵のためであり、そこで教えられた歴史は権力者中心のものだった。



受賞のようす(左:廣瀬さん)

しかしアカデミアの講義は、当時の民衆の生き方、物の観方、人間の本质を追求するというものだった。

この一年間は大変有意義な講座をありがとうございました。

# 平成15年度 歴史研究活動助成事業報告

飯田市歴史研究所では、歴史研究を行っている個人または団体に助成を行っています。平成15年度申請いただいた方々の内、審査の結果次の4件の皆さんを助成対象とさせていただきます。また、審査に先立ち3月13日(土)歴史研究所3階において研究報告会を開催いたしました。



「森本州平日記をとおして伊那谷の近代思想史を探る」  
森本日記を読む会 代表 松上 清志

塩澤栄三氏が執筆し、未完であった原稿「伊那思想史」を発刊し、これをテキストとして伊那谷の思想の変遷を研究していく活動。

「中村の誕生から現代までの歴史を調査研究する」  
中村史編さん委員会 代表 増田 喜邦

飯田市伊賀良中村の地域史編さん活動。考古、歴史、近代、地域の各編に区分し、行政、人口、交通、土地、教育、寺社、産業など各分野を網羅した内容。

「1930年代下伊那地方における青年会と産業組合運動」  
國學院大學大学院 文学研究科修士課程 坂口 正彦

飯田市下久堅産業組合青年部を中心にして、青年会との関係を明らかにしていく研究活動。

「長野県飯田市の市街地中心地域の近代化過程」  
東京大学工学系研究科 建築学専攻 江下以知子

飯田市中心市街地に位置する長姫橋（現通称めがね橋）の築造工事を中心に、飯田市の都市計画の推移についての研究活動。

飯田市歴史研究所では、平成16年度も助成事業を実施します。詳細は後日改めてお知らせします。

## 現状記録調査

### 飯田市千代山中 中山和茂家文書

3月27,28日の2日間、飯田市歴史研究所、東京大学近世史ゼミ、東京外国語大学近世史ゼミの共同で、千代山中にある中山和茂さんのお宅にて、現状記録調査を行いました。参加者計22名、賑やかな調査でした。

こちらの文書の一部は、以前に郷土史家の平沢清人氏の手で調査および目録作成がなされています。今回の調査は、それら従前の成果を参照しつつ、これまで未整理だった文書類も含めて行いました。

まず史料の入れられた容器に整理記号を付けます。木製の文書筆筒1棹(→A)、木箱2つ(→B, C)、段ボール箱2つ(→D, F)、文書入りかばん1つ(→E)、軸物など(→G)がありました。次に容器の中から文書を1点ずつ取り出し、番号を付けて封筒に入れます。この様子はビデオで撮影し、容器のどの位置から文書を取り出したかが分かるようにします。そして、文書1点ずつの表題や年代、作成者、主な内容などを記録します。



ビデオ撮影しながら現状記録調査をおこないます。

今回の調査ではA(筆筒)とD(ダンボール箱)の整理を行ない、近世から近代初期にかけての廻状(1枚の紙が複数の村で回し読みされる)などが多く見つかりました。これらを読むと、領主による村の統治の様子が具体的にわかります。

中山家調査は今後も継続する予定です。大勢で押しかけご迷惑をお掛けしたにもかかわらず、ご当主の中山和茂さんとお母様、お姉様が温かくお迎えくださり、いろいろとお心遣いいただきました。感謝いたします。

## NEW スタッフ紹介

### 調査研究員 本島 和人



近現代を担当します。五十年という時間の経過を実感できる年齢となりました。記憶にある生家の桑畑は戦後まもなく梨畑とりんご園に変わり、高度成長期を過ぎ、わずかばかりの水田もその後の減反政策で梅畑に転換しました。かつての主もりんご園も今は消えてバイパスが開通し、外からの店舗が集積し、都市化が進んでいます。その一方に過疎がいっそう進む山間部があり、慣れ親しんだ村名が消えようとしています。

戦後の貧しかった時代の記憶をかるうじてとどめている世代の私は、変貌し続ける飯田・下伊那を、少し距離を置いた所から見てきました。父祖の代には想像し得なかった激しい変貌を切り取り、記録に残し、日本社会さらに世界のなかに位置付けていきたいと思えます。飯田・下伊那という地域にこだわりながら、その枠を越えて世界にも通じる目をもって解明していきたいと願っています。よろしくお願いいたします。

## 歴研日誌 2月～4月

- 2月15日(日) 南信州新聞連載『伊那谷の歴史9』  
「史料が語る地域社会経済史」序論(田中雅孝)掲載
- 2月18日(水) いいだFM「明治時代の学校」(多和田真理子)放送
- 2月21日(土)
  - ・ 鋤柄良園氏聞き取り
  - ・ 調査研究員公募締切り
- 2月28日(土) 史料研究ノート 前澤健「旗本領における陣屋問題」
- 2月29日(日) バーチャル大学シンポジウムへ参加
- 3月2日(火) 近世史ゼミ
- 3月2日～4日 茨城県内原町郷土史義勇軍資料館出張
- 3月5日(金) 竜東中学校史料所在調査
- 3月11日(木)
  - ・ 近現代史ゼミ
  - ・ 南信州アルプスフォーラム参加
- 3月13日(土)
  - ・ 研究助成研究発表会
  - ・ 代田源三家補充調査
- 3月13日・14日 飯田アカデミア2003第8講座「女性にみる日本の近世」を開催しました。講師は吉田ゆり子さん(東京外国語大学教授)。
- 3月14日(日) 近現代史ゼミ市街地巡見
- 3月16日(火) 近世史ゼミ
- 3月17日(水) いいだFM「日露戦争と飯田・下伊那」(清水迪夫)放送
- 3月25日(木) 鼎吉沢誠氏図書資料の寄贈
- 3月27日・28日 千代中山和茂家文書現状記録調査(東京大学近世史ゼミ、東京外国語大学近世史ゼミと合同)
- 3月30日(火)
  - ・ 南信州新聞連載『伊那谷の歴史10』  
「ほうき星の出現—近世の記録に残る天文現象—」(前澤健)掲載
  - ・ 史料研究ノート 多和田真理子「郡町村組合土木事業費に関する訴願状」
- 3月～ 中島志津枝家文書現状記録調査
- 4月6日(火) 近世史ゼミ
- 4月8日(木) 近現代史ゼミ
- 4月10日(土) ジュニアゼミ

## 5～6月のスケジュール

5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	現	7	8
9	10	近	12	13	14	あ
あ	17	18	19	現	21	22
23/30	24/31	近	26	27	28	29

6月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	現	4	5
6	7	近	9	10	11	12
13	14	15	16	現	18	あ
あ	21	近	23	24	25	26
27	28	29	30			

開所時間 午前9時～午後5時  
 休所日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)  
 交通 飯田バスターミナルからタクシーで10分  
 JRいなかみさと駅から徒歩7分  
 中央自動車道飯田I.Cから車で20分

□ 開所日 □ 休所日

あ … 飯田アカデミア  
 近 … 近世史ゼミ  
 現 … 近現代史ゼミ

